

E

IEEE-488 規格、SCPI 規格との 合致に関する情報

はじめに

IEEE-488.2 規格は、2400 型がこの規格の内容をどのようにして実行するかについての、具体的な情報を要求します。IEEE-488.2 規格（規格 488.2-1987）の 4.9 項には、ドキュメンテーションに関する要求事項が列記されています。表 G-1 はその要求事項の要約であり、情報を提供するか、またはその情報についてのマニュアルを紹介します。表 E-2 には、2400 型が使用する結合型コマンドのリストを掲載します。

2400 型は、SCPI のバージョン 1996.0 に適合します。表 18-2 から 18-11 には、SCPI 確認コマンドと、2400 型が実行する非 SCPI コマンドが掲載されています。

表 E-1
IEEE-488 のドキュメンテーション要求事項

	要求事項	内容または参照先
(1)	IEEE-488 インタフェース機能コード	付録 F を参照。
(2)	アドレスがレンジ 0-30 の範囲外に設定された場合の 2400 型の挙動	無効アドレスを入力することはできません。
(3)	有効アドレスを入力した場合の挙動	アドレスは変わり、バスはリセットします。
(4)	電源投入セットアップ条件	:SYSTem:POSetup (第 5 部) を使って決めてください。
(5)	メッセージ交換オプション	
(a)	入力バッファサイズ	256 バイト
(b)	2 個以上の応答メッセージユニットを戻す照会	なし。
(c)	パーズされると応答を発生する照会	すべての照会 (汎用コマンドと SCPI)
(d)	読み取られると応答を発生する照会	なし。
(e)	結合型コマンド	表 G-2 を参照してください。
(6)	SCPI コマンドに必要な機能要素	SCPI コマンドサブシステム表に記載 (表 5-2 から 5-11 を参照)。
(7)	ブロックデータのバッファサイズ限度	ブロックディスプレイメッセージ :最大 12 文字
(8)	シンタクスの制約	第 4 部の「プログラミングシンタクス」を参照してください。
(9)	各照会コマンドに対する応答シンタクス	第 4 部の「プログラミングシンタクス」を参照してください。
(10)	規格のルールに従わないデバイス間メッセージ転送	なし。
(11)	ブロックデータ応答サイズ	第 5 部の「ディスプレイサブシステム」を参照してください。
(12)	2400 型が実行する汎用コマンド	第 4 部の「汎用コマンド」を参照してください。
(13)	校正照会情報	サービスマニュアルを参照してください。
(14)	*DDT 用トリガマクロ	適用されません。
(15)	マクロ情報	適用されません。
(16)	*IDN (identification) に対する応答	第 4 部の「汎用コマンド」を参照してください。
(17)	*PUD と *PUD? の記憶領域	適用されません。
(18)	*RDT と *RDT? の資源記述	適用されません。
(19)	*RST、*RCL、*SAV の影響	第 4 部の「汎用コマンド」を参照してください。
(20)	*TST 情報	第 4 部の「汎用コマンド」を参照してください。
(21)	ステータスレジスタ体系	第 4 部の「ステータス体系」を参照してください。
(22)	逐次コマンドまたは重複コマンド	:INIT 以外はすべて逐次コマンドです。
(23)	動作完了メッセージ	*OPC、*OPC?、*WAI 第 4 部の「汎用コマンド」を参照してください。

表 E-2
結合型コマンド

コマンド	変形
:SENSe...:RANGe:UPPER	:SENSe...:RANGe:AUTO
:SENSe...:NPLC	ほかのすべての機能についての NPLC
:SOURce...:STARt	:SOURce...:STEP
	:SOURce...:CENTer
	:SOURce...:SPAN
:SOURce...:STOP	:SOURce...:STEP
	:SOURce...:CENTer
	:SOURce...:SPAN
:SOURce...:STEP	:SOURce...:POINts
:SOURce...:POINts	:SOURce...:STEP
:SOURce...:CENTer	:SOURce...:STARt
	:SOURce...:STOP
	:SOURce...:STEP
:SOURce...:SPAN	:SOURce...:STARt
	:SOURce...:STOP
	:SOURce...:STEP
REN, GTL	「リモート動作とローカル動作の差異」の中 のリモート動作とローカル動作の移行を参 照してください (第 4 部)。
:SYSTem:MEMory:INITialize	:SYSTEM Subsystem のコマンドの説明を参 照してください。

...=有効機能コマンド語 (すなわち:VOLT:DC,:VOLT:AC など)